

# ニッポン

ドクター和の

## 臨終圖卷



長尾和宏（ながお・かずひろ） 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第2内科に入局。1995年、二庫尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療を主とし、「人を診る」総合診療を目指す。近著「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

さんいますよね。中嶋さんもその一人でしよう。

大動脈とは、体内にある最大の大動脈。心臓の左心室から出て、全身に血液を送り出す動脈の本幹、いわば主幹道路のような役割です。バウムクーヘンのように3層構造をしています。

大動脈解離とは、この内側の壁に亀裂があり、壁が剥がれることによって血液の通り道が閉鎖されたりしてしまいます。土砂崩れが起きて、主幹道路が閉鎖されたイメージです。これにより、脳梗塞

中嶋さんは7月6日、東京芸術劇場シアターウエストで初日を迎えた舞台『アザー・デザート・シティーズ』の公演開始から70分経過した午後8時10分ごろ、座った状態から立ち上がって演技をする

中嶋さんの訃報を知ったとき、先日、縁あって俳優の梅沢富美男さんと一献した時にうかがつた梅沢さんは、何があっても舞台に穴を開けてはならぬとお母様に言われて育ちました。「舞台で死ぬのが役者の本望です」と笑っておられた。

急激に襲った痛みを耐えに耐えて演技をし続け、舞台で絶命した中嶋さん。翌日、気丈に舞台をこなした妻で女優の鷺尾真知子さん。2人は夫婦である前に、舞台という戦場の同志であったに違いありません。すてきな2人を思いながら今、私の胸に『夢芝居』がフレインしています。

降伏か？ 本土決戦か？ 1945年8月14日から翌日の音放送までの間、天皇陛下と日本政府で何が起きていたのかを描いた『日本のいちばん長い日』。

原田眞人監督の映画版に出てきた東条英機があまりにもそつくりで、その鬼気迫る演技に、この俳優は一体、誰なんだとなりなり、初めて中嶋しゅうさんを知りました。そして『影武者』や『乱』など、黒澤映画の常連だったこともありました。

テレビを見ているだけではなかなか知る機会を得ない名優が、実はたくさんいました。



⑯

中嶋しゅう

# 激痛襲つた最期の舞台

以下の客席に転落しました。直後、いびきをかいていたそうですが、救急車で病院へ搬送されましたが、午後10時ごろ、死亡が確認されました。69歳でした。

死因は急性大動脈解離。つまり、うつかり転倒したのではなく、突然致命的事態が起り意識を失った結果の転落だったと思われます。

突然、背中に耐えがたい痛みを感じるのが、この病気の特徴。ある調査では大動脈解離を発症した人の6割が病院到着前に死亡しているそうです。心臓に近いところで解離が発症する方が短時間に急速に悪化します。発生した場所によつて外科手術かカテーテルによる内科的治療か、治療方法も変わります。

中嶋さんの訃報を知ったとき、男さんと一献した時にうかがつた梅沢さんは、何があっても舞台に穴を開けてはならぬとお母様に言われて育ちました。「舞台で死ぬのが役者の本望です」と笑つておられた。

急激に襲った痛みを耐えに耐えて演技をし続け、舞台で絶命した中嶋さん。翌日、気丈に舞台をこなした妻で女優の鷺尾真知子さん。2人は夫婦である前に、舞台という戦場の同志であったに違いありません。すてきな2人を思いながら今、私の胸に『夢芝居』がフレインしています。

や消化管壊死など、致命的な合併症を急激に引き起さすのです。高血圧の人は圧倒的に解離のリスクが高いことがわかっています。